



様式第4号（第7条関係）

令和6年6月12日

東かがわ市議会議長
渡邊堅次様

東かがわ市議会議員
(会派・個人・その他)

氏名 小松千樹



行政視察等報告書

1	日時	令和6年5月27～28日	
2	参加者	田中久司 工藤潔香 渡邊堅次 山口大輔 淀紀清 小松千樹	
3	研修目的等	内 容	研修場所
		議会広報について	東京都あきる野市役所
		トキワ荘マンガミュージアムについて	東京都豊島区立 トキワ荘マンガミュージアム
		「そうかりノベーションまちづくり」について	埼玉県草加市役所
4	研修・調査内容	別紙参照	
5	研修成果	別紙参照	
6	費用	82,490円	

※領収書(交通費・宿泊費の明細が分かるもの)、研修資料を添付してください。

東京都あきる野市：議会広報について

広報の目的は、不特定多数のユーザーに向けて情報を発信し、情報を届けることだと思う。自治体発行の広報紙はその地域で暮らす人々とのコミュニケーションツールの1つである。その目的は情報を届けることだと思う。多くの人の目に触れ、興味関心を集めるツールで、認知度向上等様々な効果が期待されている。広報紙の効果を最大限に引き出すこと、興味を引くデザインや、読み手にわかりやすい文章を考えることなども求められる。

あきる野市の議会だより「ギカイの時間」

あきる野市の議会だより「ギカイの時間」は市民へアンケートを取り、とにかく見やすく読んでいただきやすい項目に特化し、議会広報紙を編集、発行している。

一般質問の掲載についても、議員の多くが陥りやすいのは、とにかく訴えたいこと全てを掲載しようとする方法だが、これに対しあきる野市は、まず市民の方の目に止まる、読んでもらえる内容、想定、形から入っている。内容も重要であるが、まず読んでもらえる文章、形が重要と考えている。

① 独自性、先進性などの観点で評価すべき点

- 市民からのアンケートから出発し、とにかく見てもらえる紙面
- 手に取ってもらえる表紙づくりや興味を引く特集、読みやすい構成
- 行政用語を「通じる言葉」に
- 知らせたいことと知りたいことの差
- 読んでほしい量と読める量

② 今後、東かがわ市議会広報紙で参考にすべきと思われる点

- 手に取ってもらえる表紙づくりや興味を引く特集、読みやすい構成
- 知らせたいことと知りたいことの差
- 読んでほしい量と読める量

③ 東かがわ市議会広報紙で参考にする上での課題（現在、今後）と思われる点

- 特になし

【研修成果】

- 広報紙は興味関心を集めるツールで、認知度向上等様々な効果が期待されている。広報紙の効果を最大限に引き出すため、興味を引くデザインや、たくさんの人にわかりやすい文章を考えるなど、本市も検討していきたい。

東京都豊島区：トキワ荘マンガミュージアムについて

豊島区立「トキワ荘マンガミュージアム」とは

現代マンガの巨匠が集い、若き青春の日々を過ごした伝説のアパート、トキワ荘。その歴史的意義や文化的価値を再評価し、現在の人々に当時の想いやエネルギーを伝えることにより、マンガ、アニメを核とする地域文化の継承、発展をめざしている。地元の市民からの要望もあり、観光資源の一つとして、資産を投入しトキワ荘を忠実に再現した。世界に誇れる、特にマニアにとっては必ず訪れてみたい場所である。

① 独自性、先進性などの観点で評価すべき点

- 現代マンガの巨匠が集い、若き青春の日々を過ごした伝説のアパートをマンガの聖地「トキワ荘」として、忠実に再現している。その場所、場所を点として、点と点を線とし、さらには平面に展開している。

② 東かがわ市で参考にする上での課題（現在、今後）と思われる点

- 歴史的な建造物、聖地としての観光資源の再現と住民の要望があって初めて実現されることである。これらの条件が必要である。

③ 今後、観光事業において、東かがわ市で参考にすべきと思われる点

- 文化遺産の歴史的意義や文化的価値を再認識し、地元住民の協力のもと、点と点を線に、平面へと展開し、発展させている点を参考にすべきである。

【研修成果】

- 東かがわ市観光施設の歴史的意義や文化的価値を検証し、再評価しつつ、それぞれ点を結び線とし、平面に展開できる観光施設を確認していきたい。

埼玉県草加市：「そうかりノベーションまちづくり」について

① 独自性、先進性などの観点で評価すべき点

- 草加市は一般の空き家対策とは異なる状況で空き家率は9%。しかし、草加市の問題点は東京都のベッドタウンという位置づけで、多くのひとが東京に稼ぎにいき、買い物は市外の店舗へ行くという市内購買率が20%と低いことである。購買力はあるため、空き家を利用して、店舗に活用していくという「リノベーション事業」である点。

② 東かがわ市で参考にする上での課題点（現在、今後）と思われる点

- 一般的な空き家対策で困ってはいない。市外の大型店舗へ買い物に行き、その地域経済循環を加速するため「地域資源を育て、稼ぐ」地域密着型ビジネスの担い手を育てている。

③ 今後、空き家対策（移住定住施策含む）において、東かがわ市で参考にすべきと思われる点

- 空き家対策として利用価値のある空き家を有効利用して、地域経済循環の活性化している点は評価したい。

【研修成果】

- 草加市の世帯等や人口状況は県都高松市より小さいけれども、東京都のベッドタウンとして購買力も高く、空き家率も低いため参考とはならないが、利用価値のある空き家を有効利用し、移住定住施策への利用可能性を検証していきたい。